

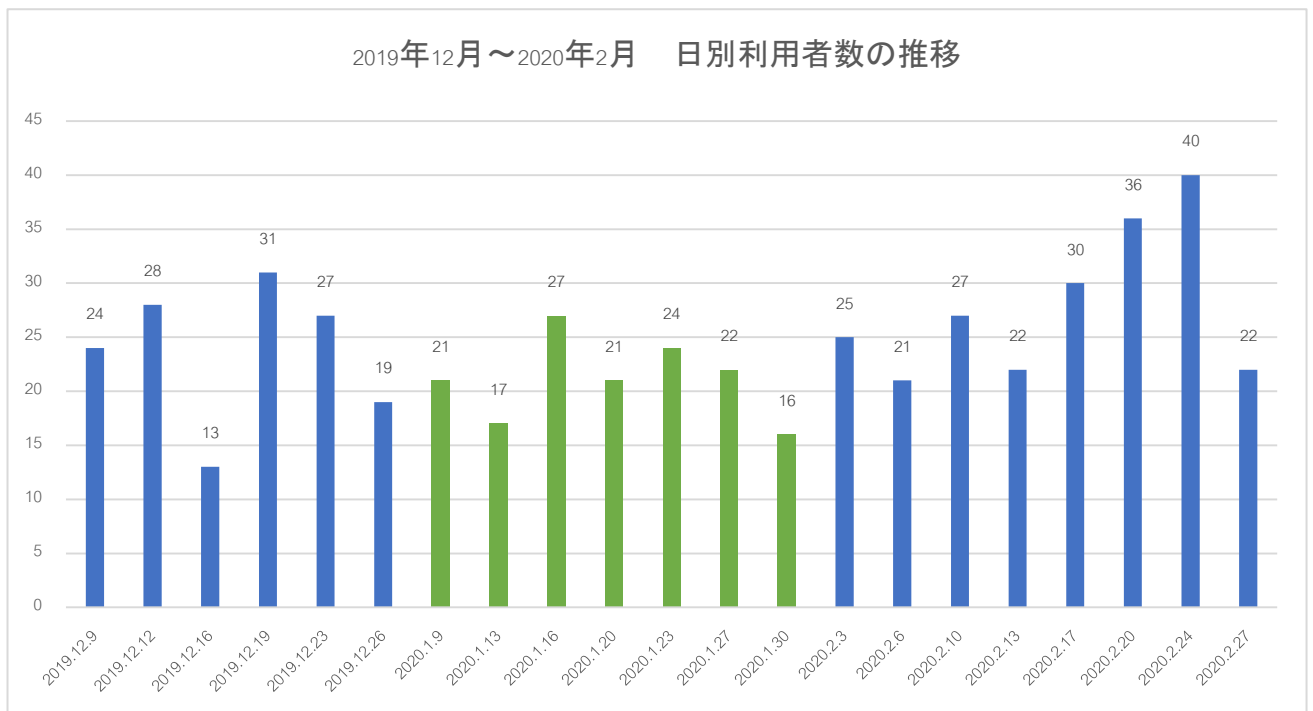
3. 実証事業の実施状況

3. 実証事業の実施状況

(1) 利用実態

利用者数（日別）

2019年12月合計 : 142人	2020年1月合計 : 148人	2020年2月合計 : 223人
依頼件数合計 : 101件	依頼件数合計 : 110件	依頼件数合計 : 151件
平均乗車人数 : 23.7人/日	平均乗車人数 : 21.1人/日	平均乗車人数 : 27.9人/日
12月9日 : 24人	1月9日 : 21人	2月3日 : 25人
12月12日 : 28人	1月13日 : 17人	2月6日 : 21人
12月16日 : 13人	1月16日 : 27人	2月10日 : 27人
12月19日 : 31人	1月20日 : 21人	2月13日 : 22人
12月23日 : 27人	1月23日 : 24人	2月17日 : 30人
12月26日 : 19人	1月27日 : 22人	2月20日 : 36人
	1月30日 : 16人	2月24日 : 40人
		2月27日 : 22人

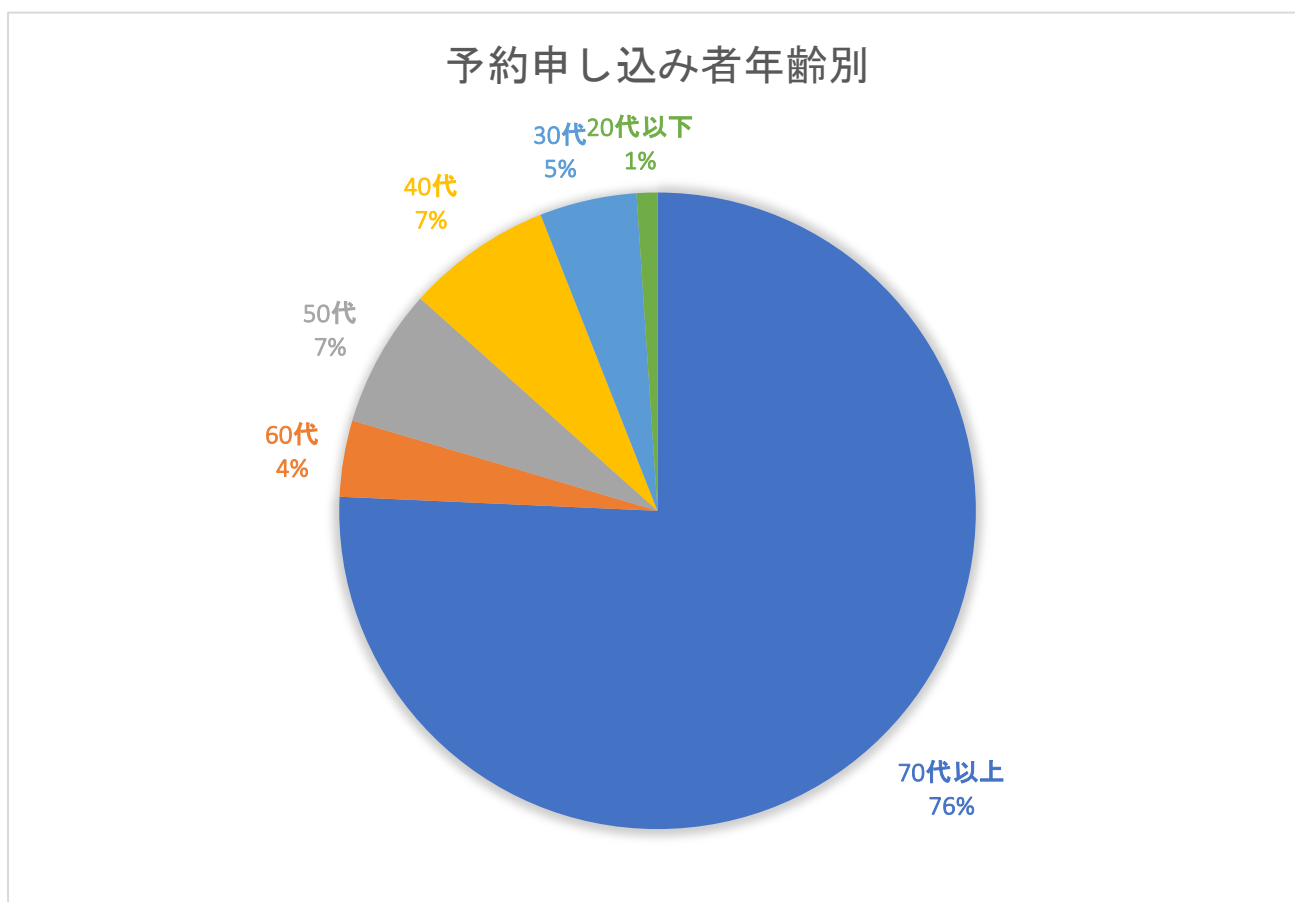


【考察】

- ・ 12月は運行開始初月であったこともあり、興味本位で乗車している方も多かったが、日を追うごとに乗車人数は緩やかに伸びており、クルクルの認知の広まりが見て取れる。
- ・ 日によって利用者数の多少の変動はあるが、大きな増減は見られず恒常的に利用者がおり、一定のニーズがあることが読み取れる。

予約申し込み者年代別（年齢が分かる利用者に限る）

2019年12月	2020年1月合計	2020年2月合計
70代以上：60人	70代以上：57人	70代以上：98人
60代：4人	60代：4人	60代：3人
50代：4人	50代：12人	50代：4人
40代：5人	40代：10人	40代：6人
30代：10人	30代：2人	30代：2人
20代以下：2人	20代以下：0人	20代以下：1人

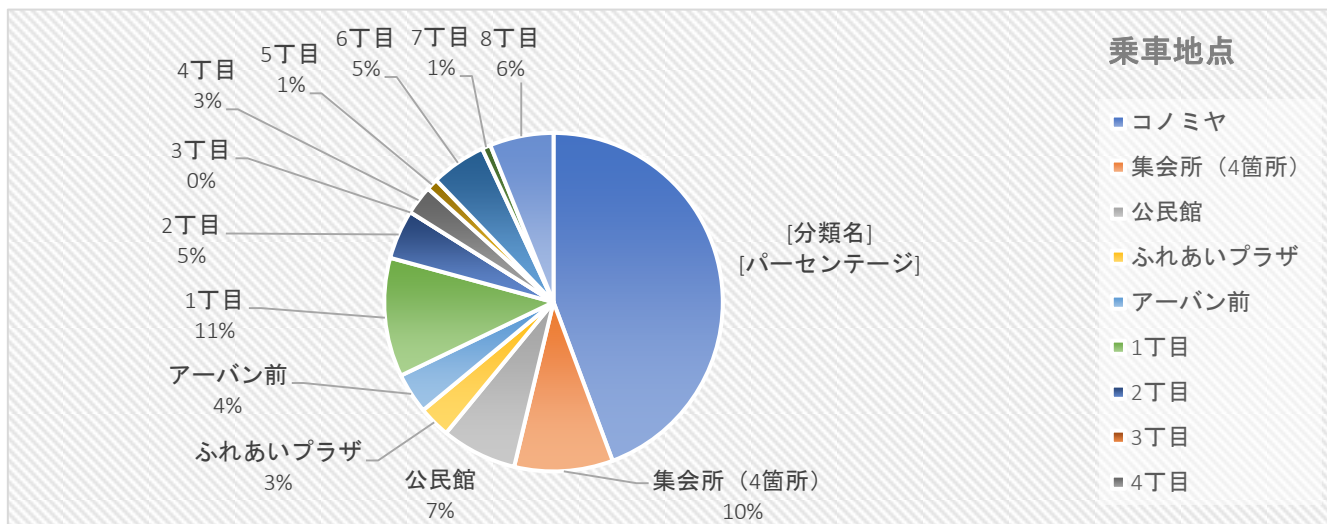


【考察】

- ・70代以上の利用が7割以上を占めており、それ以外の年齢層の利用者はまばらである。一方で毎月恒常的に利用者があり、地域全体・多世代に情報が伝わっていることがわかる。
- ・月を追うごとに70代以上の利用者が増加していることがわかり、情報の周知の広まりが見て取れる。

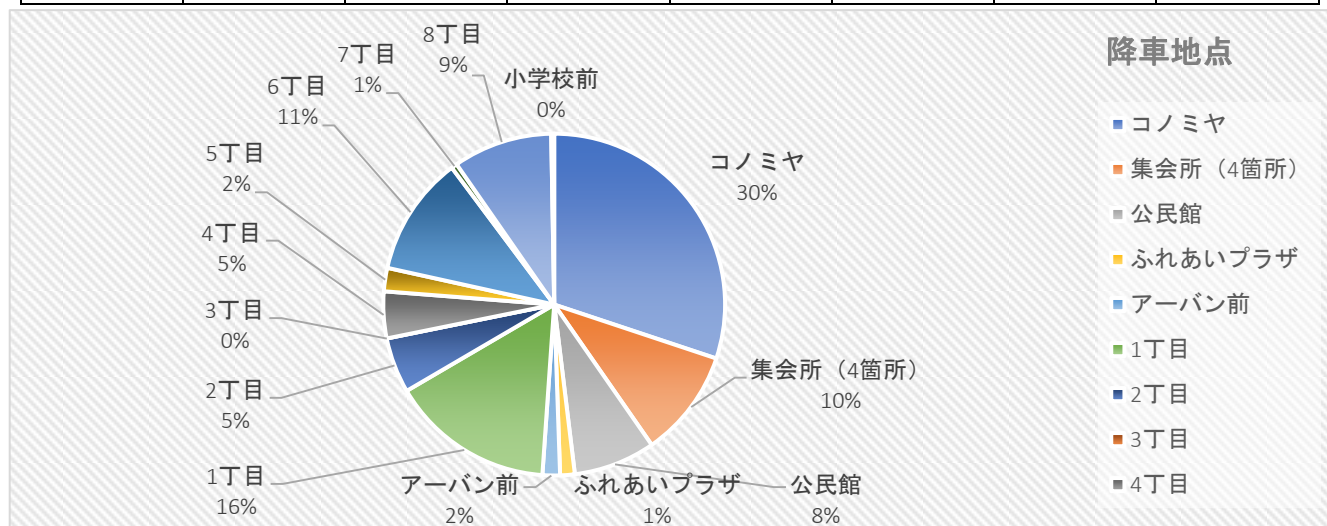
乗車地点（件数）

コノミヤ		集会所（4箇所）		公民館		ふれあいプラザ		アーバン前	
160		34		26		11		14	
1丁目	2丁目	3丁目	4丁目	5丁目	6丁目	7丁目	8丁目		
41	17	0	10	4	19	3	22		



降車地点（件数）

コノミヤ		集会所（4箇所）		公民館		ふれあいプラザ		アーバン前		小学校前	
109		37		28		5		6		1	
1丁目	2丁目	3丁目	4丁目	5丁目	6丁目	7丁目	8丁目				
56	19	0	16	8	41	2	34				



【考察】

- ・コノミヤでの乗降の利用が多く、その中でもコノミヤからの乗車が多い。コノミヤまでは徒歩で来て、帰りはクルクルを利用するといった利用のニーズが読み取れる。
- ・1・6・8 丁目での利用が多い。これらはコノミヤから遠いエリアであり、かつ、その多くは自宅とコノミヤ間の移動であることから、距離に比例して利用が増えることが見て取れる。

予約実態（電話・システム予約数）

2019年12月：電話（代理配車予約）／54

アプリ／47（Myルート：2、簡単予約：1、地図から：20、目的地から：24）

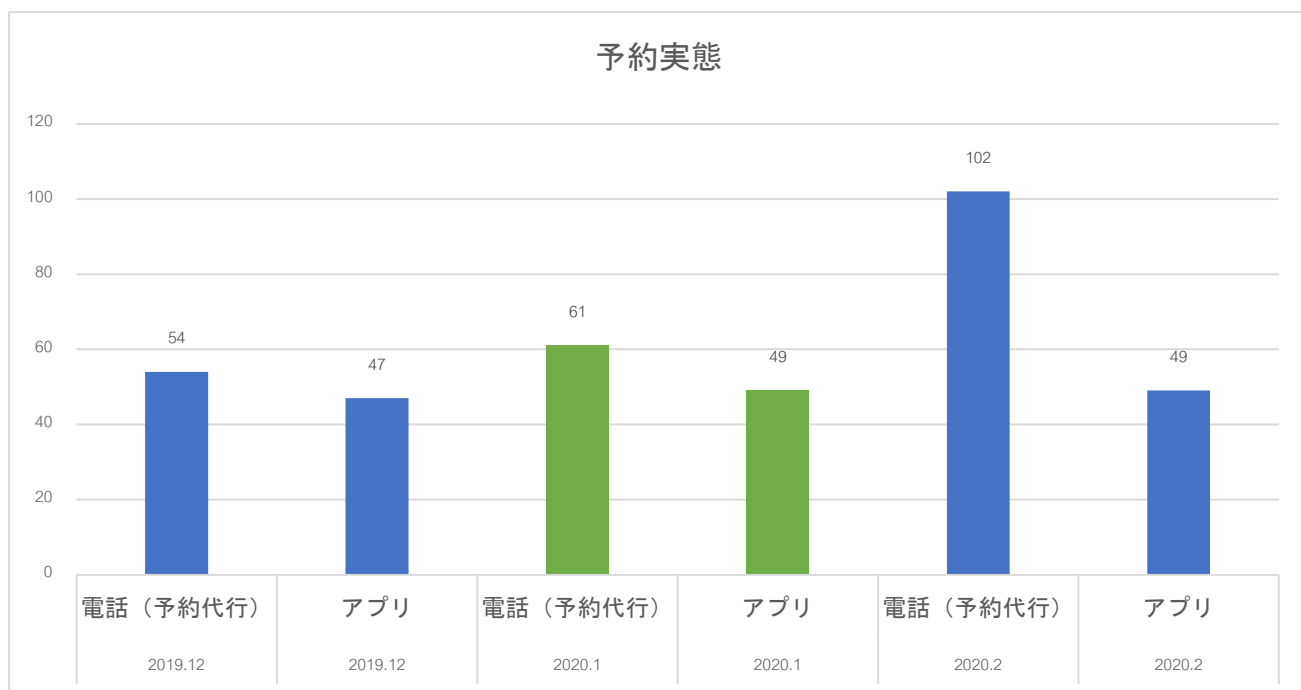
2020年1月：電話（代理配車予約）／61

アプリ／49（Myルート：13、簡単予約：4、地図から：17、目的地から：15）

2020年2月：電話（代理配車予約）／102

アプリ／49（Myルート：17、簡単予約：0、地図から：14、目的地から：18）

※電話（予約代行）はシステム上、直接事務所に予約申し込みに来られた場合も含んでいる。



【考察】

- ・2月に電話（予約代行）が増加しているが、利用者年齢層割合を見ると70代以上の利用者が前月に比べて大幅に増加しており、そこに起因すると考えられ、アプリでの利用促進が必要である。
- ・アプリ利用者はほとんど人数が横ばいで、アプリ利用者が一定数確保できていることが読み取れる。
- ・月を追うごとに、Myルートでの利用予約が増えており、リピーターが増えていることがわかる。
- ・「かんたん予約」はニーズがないことがわかる。

移動実態

走行距離

1号車

車両総走行距離 (km)			走行距離/乗客あり (km)		
2019.12	2020.1	2020.2	2019.12	2020.1	2020.2
175.12	157.05	204.77	71.45	71.21	93.63
乗車中の乗客数 × 走行距離 (乗客あり) (km)					
2019.12	2020.1	2020.2			
130.19	118.39	163			

2号車

車両総走行距離 (km)			走行距離/乗客あり (km)		
2019.12	2020.1	2020.2	2019.12	2020.1	2020.2
123.44	147.47	154.4	59.49	63.09	80
乗車中の乗客数 × 走行距離 (乗客あり) (km)					
2019.12	2020.1	2020.2			
91.56	96.35	147.17			

乗り合い回数 (別の予約の利用者が同時に乗った回数)

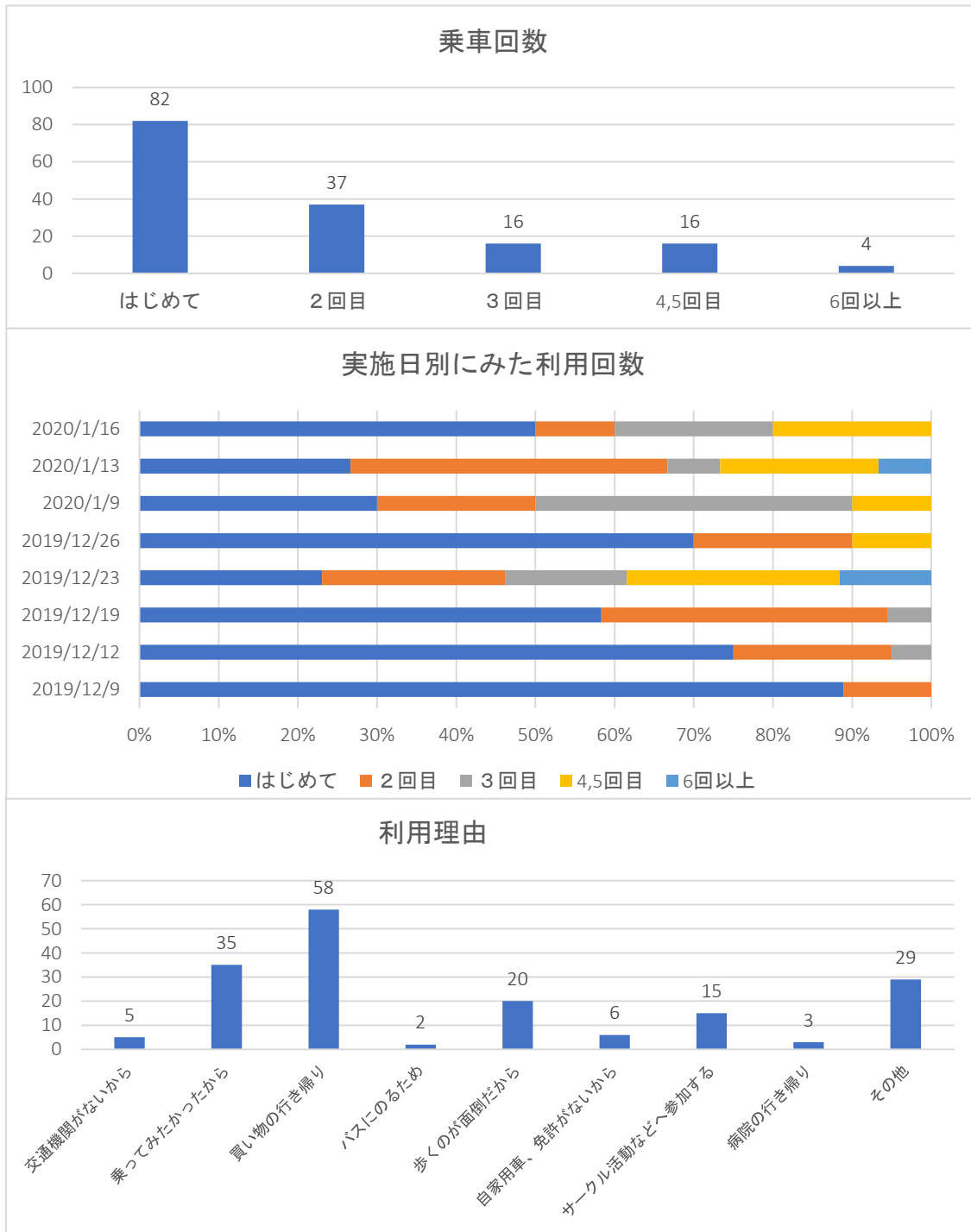
2019.12	2020.1	2020.2
16回	20回	57回

【考察】

- ・乗り合いの割合が月を追うごとに増えており、移動支援だけでなく地域内の交流増進にも寄与していることがわかる。これは、利用が増えれば乗り合いの状態が増えることにも起因する。

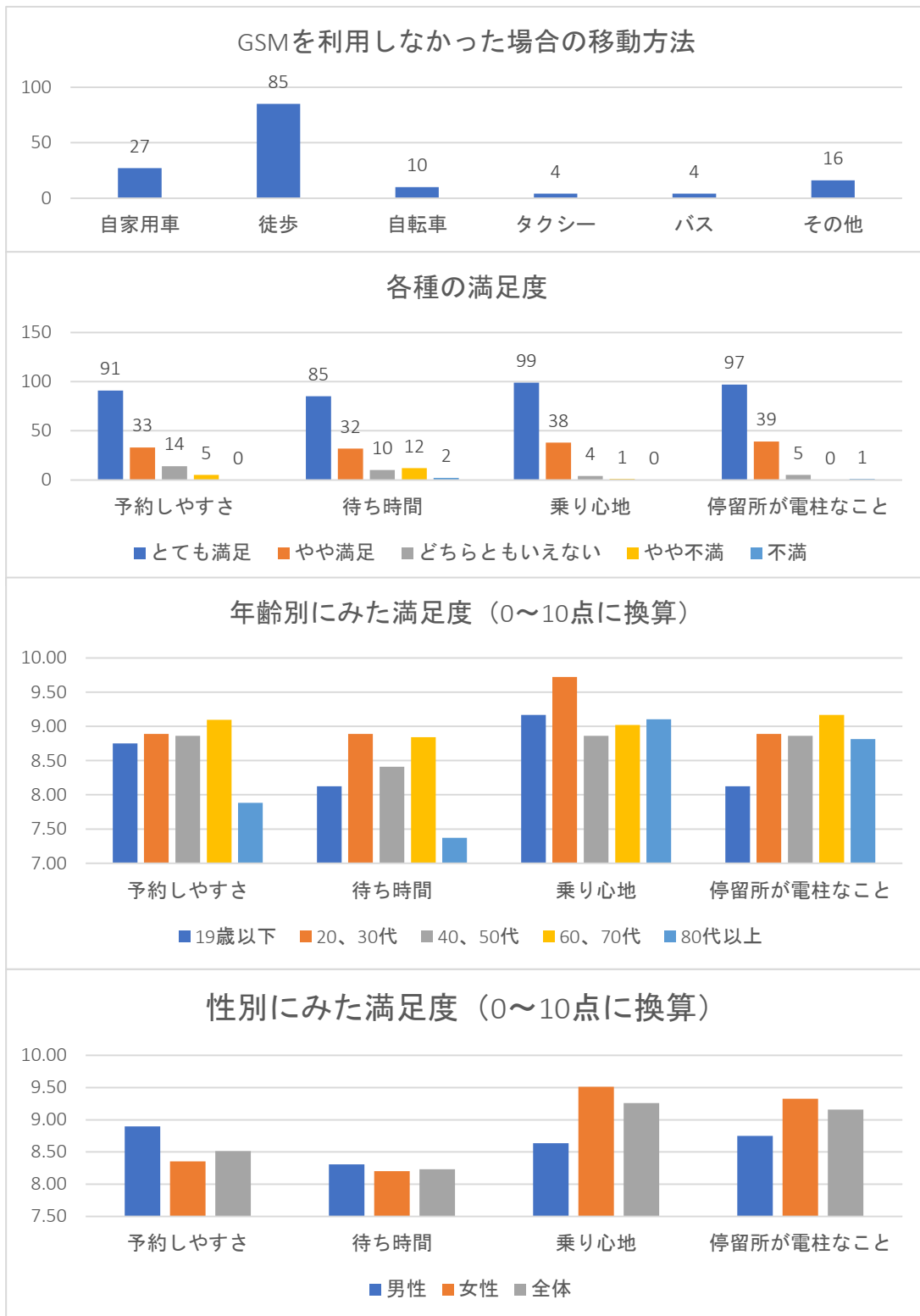
(2) 利用者アンケート

●分析結果（～2020. 1. 16 時点）※より詳細な分析も継続して行なっている



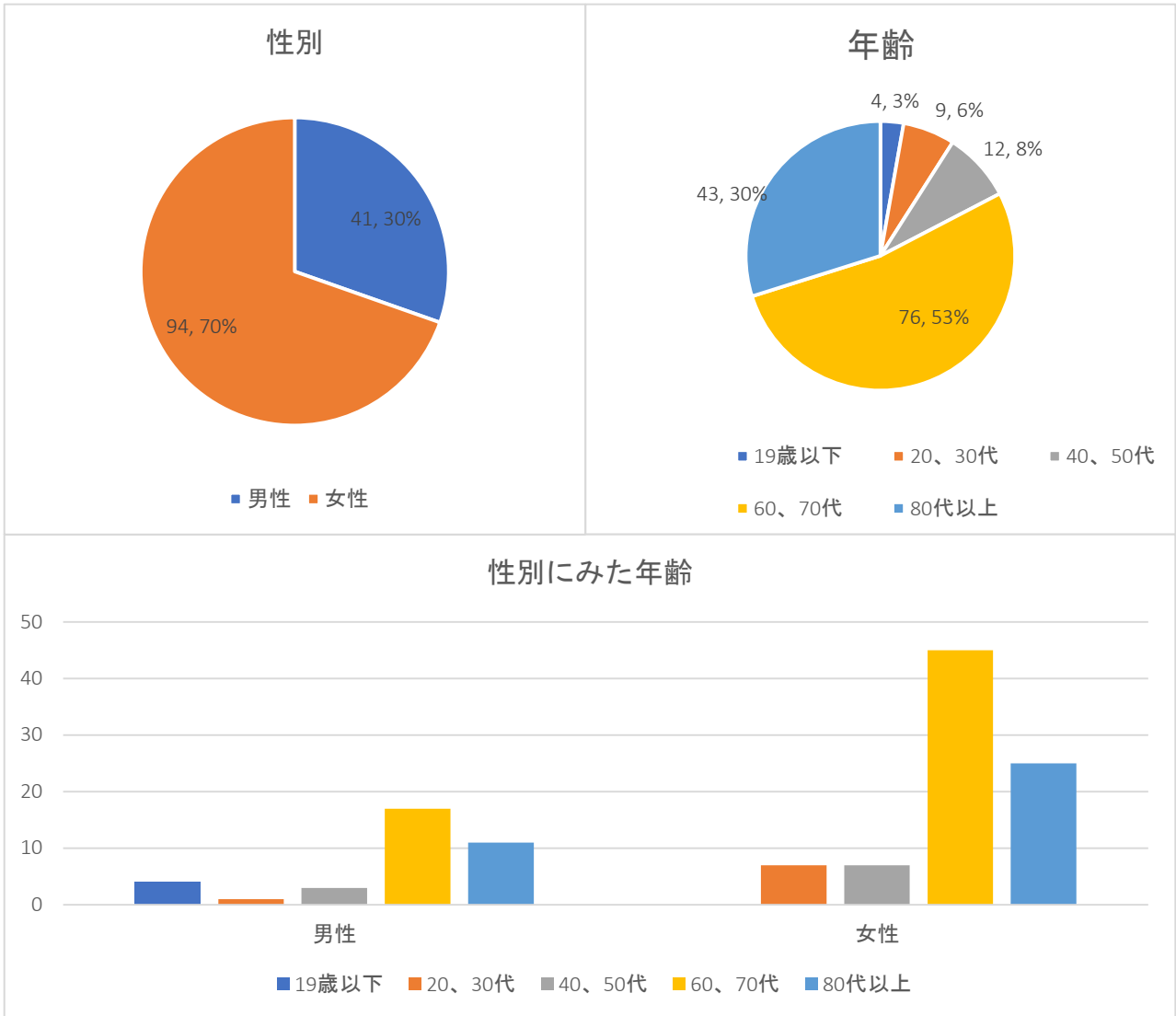
【考察】

- ・「実施日別に見た利用回数」をみると徐々にリピーターが増えていることがわかる。
- ・「利用理由」をみると買い物でのニーズが多いことがわかる。サークル活動参加のために乗っている場合もあり、地域内の交流増進としての機能もあることがわかる。一方で、病院での行き帰りでの利用が少なく、理由としてシステム上到着時間がはっきりしないことが挙げられる。



【考察】

- ・「GSMを利用しなかった場合の移動方法」をみると、徒歩での利用が圧倒的に多い。バス・タクシーといった回答もあるが、新たな地域内の移動手段としての利用はまだ少ない。
- ・「満足度」をみると待ち時間に課題があることがわかる。特に、予約しやすさ、待ち時間に関しては80代以上の方の満足度が極端に低く、何らかの改善が必要であると考えられる。



【考察】

- ・女性の利用の割合が多く、特に 60、70 代の女性の利用が多いことがわかる。これは買い物での利用が多いことにも起因すると考えるが、今後は、男性の利用者を増やす取り組みを検討する必要がある。